

「すりガラス肺がんに対するラジオ波焼灼療法の安全性と有効性を検討する後方視的研究」

へのご協力をお願い

ー平成13年6月1日～平成25年10月31日までに
岡山大学病院にて肺腫瘍に対してラジオ波焼灼療法を施行された患者様へ

研究機関名 岡山大学

責任研究者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻腫瘍制御学講座
放射線医学分野 教授 金澤 右

分担研究者

岡山大学病院	放射線部	講師	郷原英夫
岡山大学病院	放射線科	講師	平木隆夫
岡山大学病院	放射線科	助教	藤原寛康
岡山大学病院	放射線部	助教	生口俊浩
岡山大学病院	放射線科	医員	松井裕輔

1. 研究の意義と目的

本院では平成13年6月より肺腫瘍に対する治療としてラジオ波焼灼療法を行っています。今回、ラジオ波焼灼療法を受けられた全患者様を対象にして調査し、すりガラス肺がんに対するラジオ波焼灼療法の安全性と有効性を調べさせていただいております。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

平成13年6月1日から平成25年10月31日の間に肺腫瘍に対してラジオ波焼灼療法を行われた557人。

2) 調査期間：

平成25年12月開催の倫理委員会承認後から平成28年3月31日まで

3) 研究方法：

平成13年6月1日から平成25年10月31日の間に当院にて肺腫瘍に対してラジオ波焼灼療法を受けられた患者様を後方視的に評価させていただきます。そのなかで、すりガラス肺がんに対してラジオ波焼灼療法を行われた際に、治療が無事成功したか、合併症が生じなかったか、合併症が生じた場合は重篤度はどうであったか、治療による効果はどうであったか などラジオ波焼灼療法の安全性と効果を評価いたします。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報などを抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・年齢、性別、既往歴、過去の治療歴、肺腫瘍の組織、ラジオ波焼灼療法の内容など
- ・血液検査データ
- ・胸部レントゲン、胸部CT、MRI、PET-CTなど画像データ
- ・肺機能検査データ

- ・手術の記録
- ・病理学検査結果

5) 情報の保護：

調査情報は岡山大学病院放射線科内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に研究終了後も保存させていただきます。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、平成 26 年 3 月 31 日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者様の皆様に不利益が生じることはありません。

この研究にご質問ありましたら下記までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 放射線部

氏名：生口 俊浩

電話：086-235-7313 ファックス：086-235-7316